

かずさエフエム株式会社 放送番組審議会議事録

1. 日 時 2023年 10月 6日(金) 16:00～17:00

2. 場 所 きさらづみらいラボ 第1会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 6名

出席委員の氏名

委 員 : 藤波陽四郎、早川令子、阿部輝彦
 渡辺則行、鈴木広夫、中山正之

欠席委員 : 村重正明、小島悟

放送事業者

代表取締役社長 石村比呂美

統括部長 松井 隆幸

制作技術 兼平 健一

4. 議題

議事事項 (1) 業務経過、業務計画について

(2) 番組内容の審議について

5. 議事の概要

議事事項 (1) 業務経過、業務計画について 松井より報告

(2) 番組審議について

対象番組：かずさどこでもラジオ

「令和元年房総半島台風より4年」

6. 審議内容

評価できるところ

- ・令和元年房総半島台風から4年経過したタイミングでの放送で、防災のことを考える良いきっかけになるタイムリーな放送であったと思います。

- ・コミュニティエフエムらしい取り組みだと思いました。
- ・当時の被害などを風化させないためにも、このような番組を定期的に放送することが大切であると感じます。
- ・今回の番組のパーソナリティーの方のトークは魅力がありました。
- ・地域に根差した放送局は、素早く、的確な情報を伝えることができる強みがあると感じました。
- ・令和元年房総半島台風での被災、復興等、鹿野山という身近な地域の住民等の話を聞き当時のことが思い起こされ、改めて防災等について考えるきっかけとなりました。
- ・鹿野山の方のお話に、リアリティーがありました。

改善すべきところ

- ・レポーターの声が少し聞き取りにくいと思いました。
- ・インタビューが長いと感じました。

7. 措置内容

石村社長

- ・令和元年房総半島台風を振り返り、防災意識の高揚を図る意図で制作した番組です。
温暖で、めったに災害が発生しない地域だったため、多くの人が驚き、災害対応に戸惑いました。
弊社は、台風上陸前夜より本局と鹿野山送信所に泊まり込み、市役所と連携し防災情報を発信し続けました。
対象番組内では、鹿野山送信所に泊まり込んだスタッフが、地元の皆さんにインタビュー。一層臨場感が出て当時を思い出させ、風化させない思いが高まる内容になったかと思います。
また、送信所そばの小屋で発電機を使用しながら続けた放送に、多くの地元民が耳を傾けてくれました。あの状況の中で1秒たりとも停波せず放送を続けたことは、放送人としてのプライドにつながっています。総務省からの表彰も励みになりました。
また委員からの、放送への責任感に感謝したいというご意見も、大変うれしく承りました。
今後も、いざという時に、行政と連携し正しい情報を出し続けられるよう努力してまいります。
ともすれば、あの時を忘れ、風化させてしまう状況ですが、私共もしっかり胸に刻んで放送業務に取り組んでまいります。

8. 公表について

公表の方法・公表年

- ① 自社放送：「モーニングボッサ」内
2023. 11. 12（日） 6：50～10分間放送
- ② 事務所への備置き
- ③ 自社ホームページへの掲載

公表の内容 ・議事録のとおり

9. その他参考事項

- ・特になし

以上